

部局名	子ども部	所属名	しろばら幼稚園	所属長名	山本 君代	電 話	484-7321
-----	------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3422		事務事業名称	しろばら幼稚園維持管理事業					短縮コード	経常	3422	臨時	3862
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	04	幼稚園費	目	01	幼稚園費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		学校教育法第1条及び第77条～82条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
しろばら幼稚園は、保育料が安く誰でも入りやすい公立幼稚園がほしいという市民の願いもあり、昭和47年10月1日に創立された。同時に事務事業の開始となった。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
昭和47年10月1日に創立されてから今日に至るまで、社会情勢は大きな変化を遂げた。園も平成14年度には現在の場所に移転した。従って、事務事業を取り巻く状況も変化していると言わざるを得ない。今後、時代の流れは急速であり、その動向に対して迅速な対応が必要である。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	01	幼児教育						
					小項目（施策）	01	幼児教育の充実						
					細 項 目	01	幼稚園の充実						
						02	就園機会の拡充						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1 4歳児から5歳児の幼児とその保護者 2 施設・設備							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 幼稚園・小学校（勝田台南小学校）の連携を図るとともに、施設設備の整備を行い保育の充実に努めた。 1 園庭の整備・清掃 2 遊具の点検 3 施設内部の整備・清掃等							
	※平成19年度に計画していること： 上記の内容を計画的・継続的に実施する。							
意図 （何を狙っているのか）	安全で、快適な環境での保育							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	「生きる力」を培う基盤づくりと園児の健やかな成長。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	在園児数	人	65	70	68	70	
	指標2	施設・設備の定期的点検実施	%	100	100	100	100	
	指標3							
活動指標	指標1	定期的な計画的点検整備	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	施設・設備の不備を原因とする園内での事故発生件数	%	0	0	0	0	
	指標2	安全・快適度(数値化については課題としたい)						
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3422	事務事業名称	しろばら幼稚園維持管理事業				所属名	しろばら幼稚園
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			八千代市内には現在１９ヶ所（公立１園と私立１８園）の幼稚園がある。また、これまでしろばら幼稚園においては、市内唯一の公立幼稚園として、立地条件（小学校の敷地内を生かし幼小連携を図った幼児教育の推進に努めてきた。また、昨今の経済状況から経済的に幼稚園に就園困難な幼児に対しても公立幼稚園への就園の門戸を開いてきた。しかし、ここ数年の市内の幼稚園就園率を見た場合全園平均が８５％前後で推移しており、また、幼稚園の場合は基本的に送迎バスを運行しており幼稚園立地場所における地域性は薄らいでいる。そのため、経済的に就園が困難な幼児に対する幼稚園就園奨励金等の見直し等の対策を講じた上で、今後公立幼稚園の継続について検討する必要性がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業の見直しに伴う事業費の削減については、幼児を養育する経済的負担を公平化するとともに特に経済的弱者を中心として幼稚園就園奨励金等を見直し、保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の充実強化に努めるものとする。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
1 園庭の整備や遊具を充実してほしい 2 園バスがほしい 3 安全で安心できる園 等									

所属長コメント	今後も市民のニーズに応えるべく、最善を尽くし、教育成果の向上に努めていく。 コストについては、市の財政状況を十分に踏まえ、維持・管理に努める。 なお、今後の公立幼稚園のあり方について検討する。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			課題を解決し推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									